

藤沢記者クラブ各位

## 平和の輪をひろげるチャリティー募金の実施結果について

### 1. 趣旨

昨年11月に開催した「平和の輪をひろげる湘南・江の島会議」を踏まえ、さらに本市の平和推進に対する取り組みを広く市民に訴えるため、2020年までの核兵器の廃絶と恒久平和の実現をめざし、「湘南藤沢市民マラソン」に合わせて、「平和の輪をひろげるチャリティー募金」を実施したものの。

### 2. 募金実施日

選手受付時：2月25日（金）

選手受付時：2月26日（土）

大会当日：2月27日（日）



2011年2月27日募金活動の様子  
(かながわ女性センターにて)

### 3. 募金実施場所

藤沢市江の島 神奈川県立かながわ女性センター及び県営駐車場

### 4. 募金の総額 80,457円

### 5. 募金終了後の寄付金届出先

#### (1) 平和市長会議

2020年までの核兵器廃絶を目指す活動支援のため寄付金を指定口座に振り込む。

○寄付金額 40,457円

#### (2) 認定NPO法人「難民を助ける会」

地雷廃絶活動に対して寄付金を指定口座に振り込む。

○寄付金額 40,000円

皆様、ご協力ありがとうございました。

以上

\*この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所 経営企画部 共生社会推進課  
担当： 須山 井出  
内線： 2133  
直通： (50)3501



■ 2011年2月25日(金)  
選手受付時

(神奈川県立かながわ女性センターにて)



■ 2011年2月26日(土)  
選手受付時

(県営江の島駐車場にて)



■ 2011年2月27日  
(日) 大会当日

(神奈川県立かながわ女性センターにて)

中央は、海老根藤沢市長



# 藤沢市からのお願い

祝湘南藤沢  
市民マラソン

## 『平和の輪をひろげるチャリティー募金』 にご協力ください。



～2020年までの核兵器廃絶と恒久平和の実現を目指して!!～

藤沢市は、1982年に核兵器廃絶平和都市宣言をして以来、平和をこよなく愛する市民の皆様とともに、様々な平和推進の事業に取り組んでまいりました。また、昨年開催した平和の輪をひろげる湘南・江の島会議で、「湘南・江の島 かながわ自治体平和アピール」を採択し、2020年までに核兵器の廃絶を目指すこととしました。

この度、地球と人類をはじめ生命あるものの未来のため、核兵器の廃絶と恒久平和の実現を図るために、湘南藤沢市民マラソンを記念して「平和の輪をひろげるチャリティー募金」を実施します。

市民及び参加者の皆様のご協力をお願いします。



藤沢市長 海老根 靖典

皆様からいただいた募金は

- ①世界の約5,000都市が加盟する「平和市長会議」に寄付し、2020年までの核兵器廃絶に向けた活動に役立てます。
- ②谷川真理さんが理事を務める「認定NPO法人 難民を助ける会」に寄付し、地雷廃絶の活動に役立てます。



### 平和の輪をひろげるチャリティー募金事務局



藤沢市経営企画部共生社会推進課 電話：0466-50-3501

# 昨年11月に江の島で藤沢市が主催した 「平和の輪をひろげる湘南・江の島会議」



**全国初！  
県内全34自治体が  
揃ってアピール！**

## 平和の輪をひろげる湘南・江の島会議 『湘南・江の島 かながわ自治体平和アピール』

かながわは、開国以来日本の社会と経済をリードしてきた進取の気風に富んだ地域である。情緒あふれる古都や城下町、宿場町、港町としての歴史や山、川、海など豊かな自然にも恵まれた魅力にあふれている。そして、それぞれ特色ある歴史と風土に彩られている34の自治体におよそ900万人の人々が暮らしている。

今から30年前にイギリスのマンチェスター市が最初に非核宣言を行った。米ソ冷戦のさなか、核兵器の脅威をなくすため、自らのまちを非核兵器地帯と宣言した。その後、この宣言は世界中に広がり、日本では、現在、全自治体の約84%、1500を超える自治体が宣言を行っている。

かながわの34自治体は、それぞれのまちと世界の未来を展望し、まちの特色ある歴史を次代に残すために、平和への強い思いを込めて、核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向け非核平和宣言を行ってきた。そして、全国に先駆けて、平和を実現していくための様々な取り組みをNGOや市民と連携協力し、草の根からの活動として着実に実践してきた。

しかしながら、広島と長崎が被爆して65年、未だに核兵器の廃絶には至っていない。今こそ、地球と人類をはじめ生命あるものの未来のため、核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けて、世界中の都市と都市、市民と市民が手を携えていかなければならない。

2009年4月のオバマ米大統領のプラハ演説を契機に、本年5月、ニューヨーク国連本部で開催された核不拡散条約(NPT)再検討会議での成果や8月には潘基文国連事務総長が初めて長崎、広島を訪問するなど、核兵器廃絶に向けた機運と期待が世界中で高まっている。さらには、南半球のほとんどすべてに広がった非核兵器地帯は北半球にも広がりつつある。

湘南・江の島に集う34自治体は、このような「核兵器のない平和な世界」を求める機運を絶好の機会と捉え、この地から湘南・江の島平和アピールを発信し、世界中の国や地域、自治体、NGO、市民とともに、大きな平和の輪を幾重にもひろげ、広島、長崎と連携して、核兵器の廃絶と恒久平和の実現を目指さなければならない。

核兵器廃絶は人類にとって最も喫緊で重要な課題である。私たちに、不幸にも被爆された方々が存命のうちに、同時に次世代を担う子どもたちのために、非核三原則を遵守し、一刻も早く核兵器のない未来を創造する責任がある。

ここ湘南・江の島に集うかながわの34自治体は、市民の生命と暮らしの安全を守る自治体としての原点にたち、核兵器廃絶に向けた平和の取り組みをしている世界中の多くの人々とともに、2020年までの核兵器の廃絶を目指す。

そして34自治体が、核兵器のない平和な世界を目指して、これまでも増して緊密に連携し、行動していくことを高らかに宣言し、湘南・江の島かながわ自治体平和アピールとする。

2010年(平成22年)11月27日 平和の輪をひろげる湘南・江の島会議

### 平和の輪をひろげる湘南・江の島会議 神奈川県内自治体首長

神奈川県知事	松 沢 成 文	横浜市市長	林 文 子	川崎市市長	阿 部 孝 夫	相模原市長	加 山 俊 夫
横須賀市長	吉 田 雄 人	平塚市長	大 藏 律 子	鎌倉市長	松 尾 尾 孝	藤沢市長	海 老 根 靖 典
小田原市長	加 藤 憲 一	茅ヶ崎市長	服 部 信 明	逗子市長	平 井 井 竜	三浦市長	吉 田 塚 城 治 郎
秦野市長	古 谷 義 幸	厚木市長	小 林 常 三	大和市長	大 木 哲 生	伊勢原市長	長 坂 本 川 田
海老名市長	内 野 優 二	座間市長	遠 藤 貞 夫	南足柄市長	沢 三 好 村 木	綾瀬市長	笠 坂 湯 富
葉山町長	森 上 信 一	寒川町長	山 間 宮 恒	大磯町長	大 沢 三 島 青	二宮町長	山 北 町 長
中井町長	尾 露 木 順 一	大井町長	大 井 宮 恒 行 士 夫	松田町長	松 田 町 長	山 北 町 長	山 北 町 長
開成町長	露 木 順 一	箱根町長	山 口 昇 明	真鶴町長	松 田 町 長	湯河原町長	湯 河 原 町 長
愛川町長	山 田 登 美 夫	清川村長	大 矢 明				

